

# 「心得」の見直し原案が完成！

令和4年が間もなく終わります。今年も、生徒会を中心に様々な分野で大中学生の頑張りが光りました。今朝の全校朝会でもその一端を皆さんに紹介しましたが、皆さんの頑張りは朝会のわずか10分間で紹介できるものではありません。本当に頑張った！

その中でも、三浦会長から自分に手渡された「学校生活の心得 見直し原案」については、全校生徒がかかわって頑張った象徴とも言えるものです。生徒が自分たちの手で学校を創ろうとするときの、まさに1丁目1番地にあたる取組であり、そこに正面から挑んでくれた大中学生の力や思いを、原案を受け取りながら強く感じました（ちなみに「1丁目1番地」とは、「最優先課題」「最も重要なこと」という意味です）。

生徒の皆さん、原案を確かに預かりました。この重みは、皆さんが真剣に考え、検討して練り上げた努力の重みです。先生方、そして保護者の方に提示して、生徒とは異なった目線からの意見をいただき、それをまた皆さんに返します。最後は、皆さんの代表と一緒に修正作業を行い、完成を目指します。完成の最後まで生徒の皆さんがかかわることが、真の意味での「生徒の手による学校づくり」となるのですから。

これだけ生徒主体で心得の見直しを行った学校を、自分はほとんど知りません。それだけのことをやり遂げようとしている大中学生を誇りに感じます。

\*\*\*\*\*

## 新生徒会も頑張る！ 地域行事への参加を呼びかける

今朝の全校朝会では、新生徒会長の齋藤旭さんから全校の皆さんへ「餅つき大会」の案内と積極的な参加の呼びかけもされました。大形地区青少年育成協議会の猪俣会長から、地域の絆を強める行事として大中学生の参加の呼びかけを依頼されたことによるものです。

このことで驚いたことがあります。全校朝会が終わったときに、新副会長の齋藤今日子さんから、餅つき大会の案内チラシを全校生徒に配付してもらいたいという依頼を受けたのです。何に驚いたか、それは次のことです。

- 地域行事の案内を受けて、大中学生向けに参加を呼びかける案内を自主的に作成していた！
- 配付方法は、紙ではなくロイロノートでデータ配信！

自分たちにできることを積極的にやろうとする姿勢は、まさに大形中が目指そうとする姿そのものです。現生徒会の頑張りは十分に感じていましたが、それとともに新生徒会への期待も大きく膨らんだ出来事でした。

\*\*\*\*\*

## 1年間ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、生徒の頑張りと保護者・地域の皆様のご協力のおかげで、無事に年末を迎えることができました。皆様に感謝いたします。来年も、勢いを緩めることなく走り続けたいと思います。

皆様、よいお年をお迎えください。生徒の皆さん、冬休み明けに元気に再会できることを楽しみにしています。



三浦会長を中心に頑張った生徒会、全校生徒の取組に感謝！  
～あらためて校長室にて～

大形中学校 校長室だより  
**夢・希望・未来**

令和4年12月22日

第24号



玉木・齋藤新副会長と三浦新書記局長からデータを預かりました。皆さんに送ります！

## 「雪かき、手伝います！」

大雪の2日目である20日（火）の朝、職員が雪かきをしていたときに、登校した3年生の男子から声がかかりました。

率先して手伝いを申し出てくれたことを、すごくうれしく感じました。

おかげで、生徒玄関前の雪がすっかりきれいに片付き、生徒の出入りがスムーズにできるようになりました。ありがとうございます！

